

2011年度
関西学院大学ロースクール

一般入試（法学既修者）

刑事訴訟法 問題

○開始の指示があるまで内容を見てはいけません。

【刑事訴訟法 問題】

警察官P、Qによる以下の撮影行為の適法性について論じなさい。

(1)強盗事件で被害者Aが奪い取られたキャッシュカードがB銀行C支店のATMで使われて、Aの口座から現金50万円が引き出された。B銀行C支店に設置されていた防犯ビデオには、ATMから現金50万円を引き出した人物の容貌が写されていた。そこで、警察官Pは、この強盗事件の犯人と目されていた被疑者甲がB銀行C支店の防犯ビデオに写っていた人物と同一人物であることを確認するために、公道上を歩く甲の容貌を物陰からビデオカメラで撮影した。令状は得ていない。

(2)警察官Qは、覚せい剤営利目的譲渡の疑いで被疑者Xに対して捜査を進めていたが、覚せい剤の密売ルートを解明するためにXを尾行し、Xが接触した相手の身元を洗い出そうとした。この尾行は2009年6月1日から同月15日までの15日間、Xが自宅を出てから帰宅するまで、毎日、Xの居宅等を除いて公道やデパートなど自由に人が立ち入ることができる場所でのXの挙動をすべて捕捉するもので、Xの挙動はすべてQによってビデオカメラに撮影・収録された。令状は得ていない。ビデオテープの収録時間は総計120時間に及んでいる。